

A 図書館の認識はあるが、10億もかかる。今ある中でできることをやっていく。タブレット検索やWiFi化もしていきたい。

(町長)

Q ここにない図書を取り寄せられるか。

A 公立図書館で相互貸借制度がある。県図書館から届けてもらえる。

(教育次長)

○機構改革について

Q 現町長になってから、すでに3回も組織改革がなされている。どのような考えで行っているのか。

A 昨年7月と今年4月の二回組織改正した。議決されている。これは新たな行政課題や住民の多様なニーズに相応した施策を総合的かつ機動的に展開できるような見直しである。従来の在り方にとらわれない、スクラップ・アンド・ビルドを徹底することで、非効率な行政組織を廃止し、新しい行政機構に置き換えることによって、行政効率化を徹底することの二点を基本方針とした。

(総務部長)

Q 国際交流係は担当課へ行って変わったのを知った。質問者の私には知らせてくれてもいいのではないか。これにより、部設置条例の改正はなされたのか。

A 職員にはプロになってもらいたいので、ボトムアップでやってもらいたいと考えている。条例はこれから改正する。

(町長)

Q 行政評価制度はどうなっているのか。

A 来年には地方公務員法で制度になる。その準備としてここ数年は試行している。

(副町長)

Q 職員は人的財産なので、公務員であることに幸せを感じて仕事ができるようお願いしたい。

A 町づくりの根幹をなすのが職員なので、スキルを上げていけば未来は明るい。町民と町が幸せを一番に考えて施策するように希望する。

(町長)

議席10番

田山 文雄 議員

○いじめ防止の取り組みについて

Q 当町における現状と課題、今後の取り組みについて。

A 現状、いじめ問題対策連絡協議会を設置している。小学校3校で5件、中学校2校で23件を把握しているが、些細な事から大きく発展しないようにその都度学校に指示をだして解消を図っている。

(教育次長)

いじめの問題に対してあらゆる事例を参考にして取り組んでいきたい。

(教育長)



田山 文雄 議員



○聴覚障がい児に関する助成金の取り組みについて

Q 障がい者手帳の有無に関わらず、必要な聴覚障がい児には補聴器購入費の助成等を検討すべきと思うが、当町の考えについて。

A 事例の相談があった場合は、先進地等の事例を参考に検討し、境町でも実施していきたい。

(町長)

○認知症対策について

Q 厚生労働省の推計では、2025年に認知症の人が700万人前後に激増するとあるが、当町としての取り組みについて。

A 認知症ケアの対策や認知症になられた方々、家庭の支援などの先進自治体にならって境町で取り入れられるものを検討していきたい。

(町長)

